

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年 4月 7日 (月)

2 確認箇所

B排水路、C排水路及びBC排水路 (図1)

3 確認項目

B排水路、C排水路及びBC排水路の現況確認、並びに新設PSFモニタの設置状況の確認

4 確認結果の概要

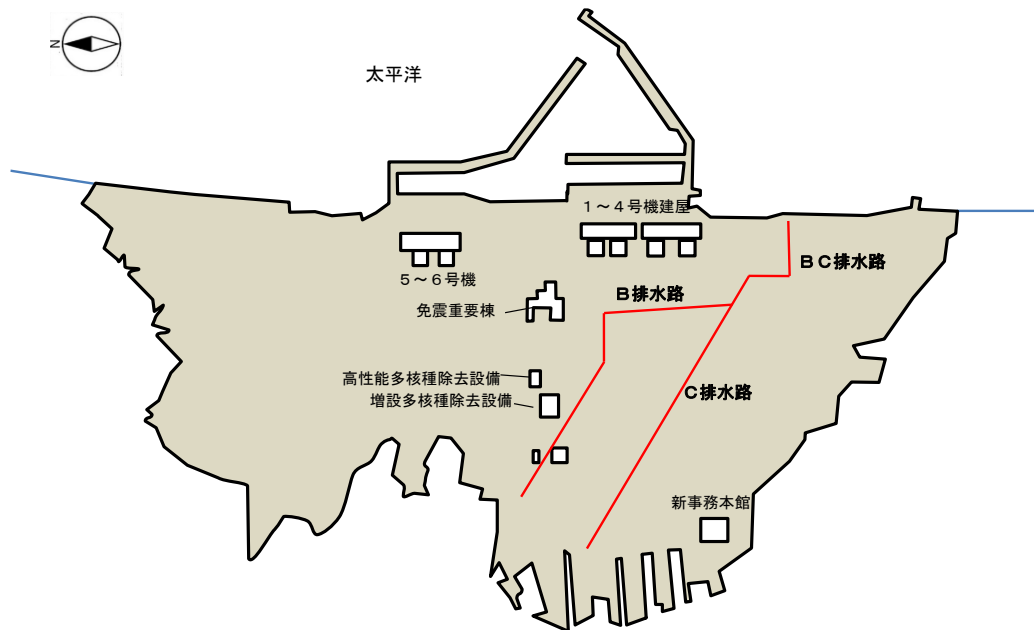
B排水路、C排水路及びBC排水路の現況を確認するとともに当該排水路に設置されている新設PSFモニタの設置状況等を確認した。

BC排水路 (東側) の末端付近には、排水路へ放射性物質が流入した場合の漏えい拡大防止対策として、電動開閉ゲート (BC-1) が設置されており、B排水路及びC排水路には、電動開閉ゲート (B-1~3、C-1・2) が設置されている。(前回確認：令和5年10月4日)

また、BC排水路の側溝放射線モニタが更新時期を迎え、他の排水路で導入がされている弁別型PSFモニタを新設し、先月(3月3日)から運用が開始されたことから、その設置状況を確認した。

- ・BC排水路については先週の降雨の影響により、排水量増加も懸念されたが、目視確認の範囲で異常は認められなかった。
- ・BC排水路の電動開閉ゲート、ゲート設備配電盤、PSF測定部盤及びPSFモニタ設置箇所*等排水路に設置されている設備について、目視確認の範囲で、機器の破損等の異常は認められなかった。(写真1)
- ・33.5m盤のBC排水路の末端付近には、排水路へ放射性物質が漏えいした場合の漏えい拡大防止対策として、電動開閉ゲート (BC-1) の他、発電機や排水移送用配管等が設置されているが、目視確認の範囲で、機器の破損や配管からの排水の漏えい等の異常は認められなかった。(写真2)
- ・海側のBC排水路及びその直前に設置されている排水柵について、目視確認の範囲で、配管から排水の漏えい等の異常は認められなかった。(写真3)
- ・新設されていた弁別型PSFモニタは、排水路本流に直付けされ、 β ・ γ 線の同時測定が行われており、測定データの収集は2系列で行われていた。(写真4)

P S F モニタ：K排水路等の排水の放射能濃度を連続監視するための放射線検出器。降雨によるフォールアウトの影響（放射性C s の γ 線）で指示値が上昇する傾向があるため、弁別型P S F モニタは、 β 線 + γ 線の検出部と γ 線の検出部を有し、それぞれの測定値の差を取ることで、 β 線（S r - 9 0 の寄与）が測定可能。



（図 1）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真 1－1）
C－1 電動開閉ゲートの状況
（全開）



（写真 1－2）
C排水路の関連設備
（C－1 ゲート設備の配電盤）



(写真 1－3)
B－1 電動開閉ゲートの状況
(全開)



(写真 1－4)
B－1 排水路設備の状況
(電動開閉ゲート及びB排水路)



(写真 2－1)
電動開閉ゲート (B C－1) の状況



(写真 2－2)
電動開閉ゲート (B C－1) に設置
されている発電機の状況



(写真 2－3)
電動開閉ゲート (B C－1) に設置
されている排水移送用配管の状況



(写真 3－1)
B C排水路（海側）の状況



(写真 3－2)
B C排水路（海側）直前に設置されている排水柵の状況



(写真 4－1)
新設されたP S Fモニタの状況①
（B C排水路の本流に直付け）



(写真 4－2)
新設されたP S Fモニタの状況②
（データの収集は2系列）

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。